

麻疹風しん混合ワクチンの予防接種をご希望の方に

1. 麻疹(はしか)について

麻疹は、麻疹ウイルスによっておこる感染症で、主に春から夏にかけて空気感染・飛沫感染・接触感染でヒトからヒトへと感染します。感染力がとても強い(インフルエンザより強い)ので、麻疹に対する免疫(抗体)を持たない人または免疫力(抗体価)の低い人に広く感染してしまいます。

2. 麻疹の症状は

主な症状は、発熱・咳・鼻汁・目やに・発疹などです。約10～12日の潜伏期間(ウイルスに感染後、無症状の期間)のあとに症状が始め、38℃前後の発熱があり、麻疹特有の白く小さな斑点(コプリック斑)も頬の内側の口腔粘膜にあらわれます。数日後に一時熱が下がりますが、24時間以内に再び高熱(39～40℃)となり、鮮紅色の発疹が全身に広がっていきます。主な症状は7～10日で回復していきませんが、発疹のあとは、茶褐色の色素沈着となりしばらく残ります。

麻疹に対する免疫力が低下した人が感染し、上記症状の一部しかみられない修飾麻疹(病原体が検出されたもの)と分類される人もいます。修飾麻疹は麻疹より症状は軽症ですが、感染力は麻疹と同様なので感染を広げてしまうおそれがあり、注意が必要です。

3. 麻疹の合併症は

麻疹にかかるとおよそ30%に合併症がみられ、主な合併症は、気管支炎、肺炎、中耳炎、脳炎などです。脳炎は約1000人に1人の割合でみられ、麻痺・けいれんなどの中枢神経系の後遺症を残すこともあります。さらに麻疹にかかったあと数年～10数年後に発症する亜急性硬化性全脳炎(SSPE)という死に至る合併症が、麻疹にかかった人のうち約10万人に1人の割合で報告されています。

麻疹にかかった人のうち、1000人に1人程度の割合で死亡することがあります。

4. 風しんについて

風しんは、風しんウイルスによっておこる感染症で「三日ばしか」とも呼ばれます。主に春先から初夏にかけて流行し、飛沫感染でヒトからヒトへと感染します。感染力は、麻疹や水痘(水ぼうそう)ほど強くありません。

5. 風しんの症状は

主な症状は、発疹、発熱、首のうしろのリンパ節の腫れで、そのほかに咳、鼻汁、目が赤くなるなどの症状もみられます。潜伏期間(ウイルスに感染後、無症状の期間)は2～3週間で、発疹の出る2～3日前から発疹が出た後の5日くらいまでは感染力があるといわれています。感染しても子どもでは3日程度で治るとされていますが、大人になってからかかると関節痛がひどくなるなど重症化する傾向がみられます。

6. 風しんの合併症は

一般的に予後は良好といわれていますが、まれに血小板減少性紫斑病(症状としては出血斑、鼻血;約3000人に1人)や脳炎(症状としては発熱持続、けいれん、意識障害;約6000人に1人)といった重い合併症がみられる場合もあり、決して軽視できない疾患です。

妊娠初期の女性が風しんにかかると、先天性風しん症候群と呼ばれる病気により、心臓病、白内障、難聴などの障害を持った赤ちゃんが生まれる可能性があります。一緒に生活しているご家族からうつることが多いため、ご家族が風しんにかからないようにワクチンを受けておくことも大切です。

7. ワクチン(麻疹風しん混合ワクチン)の効果と副反応

ワクチンにより約95%の人に免疫が獲得されます。ただし、1回の予防接種では免疫力が上がらない人や麻疹及び風しんに対する抗体価が次第に低くなっていく人もいるため、現在では2回の定期接種が勧められています。麻疹及び風しんには特別な治療法はなく、対症療法だけなのでワクチンによる予防が重要です。

このワクチンは生ワクチンなので、ウイルスが体内でふえ、約20%の人に発熱や約10%の人に発疹などの副反応がみられます。接種後5～14日頃に38℃前後の発熱がみられ3日ほどで下がります。発疹も同じ頃に出現します。接種直後から翌日に過敏症状と考えられる発熱、発疹、掻痒(かゆみ)などがみられることがありますが、これらの症状は通常1～3日でおさまります。また、接種部位の発赤、腫れ、硬結(しこり)、疼痛などがみられることがありますが、いずれも一過性で通常数日中に消失します。まれに重い副反応としてショック、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病(100万人接種あたり1人程度)、急性散在性脳脊髄炎(ADEM、頻度不明)、脳炎(100万人接種あたり1人以下)、けいれんなどをおこすことがあります。ワクチン接種後に起こる亜急性硬化性全脳炎(SSPE)は極めてまれで、自然の麻疹ウイルスに感染し発症した場合の1/10以下程度と報告されています。

8. 次の方は接種できません

- ① 明らかに発熱(通常37.5℃以上)している方
- ② 重い急性疾患にかかっている方
- ③ 本剤の成分によりアナフィラキシー(重いアレルギー反応)を起こしたことがある方
- ④ 免疫機能に異常のある方・免疫抑制をおこす治療を受けている方
- ⑤ 妊娠している方および妊娠している可能性のある方
- ⑥ その他、医師に予防接種を行うことが不適當であると判断された方

9. 麻疹風しん混合ワクチンを受けるには

4週間以内に他の予防接種を受けた場合には医師にご相談ください。

麻疹風しん混合ワクチンは任意接種ですので、ワクチンの効果や副反応をお考えになったうえで、ワクチンの接種を受けるかどうかをお決めください。

ワクチンの接種を受けられるとお決めになった場合には、「麻疹風しん混合ワクチン接種申込書・予診票」に正確に記入し、医師の問診、診察をお受けください。もし、ご不明な点がございましたら、医師にご相談ください。

10. 予防接種後の注意事項

接種当日は接種部位を清潔に保ち、過度な運動を避け静かに過ごしてください。接種後2週間は健康状態や副反応に留意し、何か気になる症状がある場合は、医師に連絡してください。

本剤の接種により健康被害が発生した場合には「医薬品副作用被害救済制度」により治療費等が受けられる場合があります。詳しくは独立行政法人医薬品医療機器総合機構のホームページ等をご覧ください。

【女性の方への注意事項】接種前1ヵ月間、接種後2ヵ月間は、妊娠を避ける必要があります。

接種予定日	月 日()です 時 分頃までにおこしてください。	医療機関名
-------	------------------------------	-------

麻しん風しん混合ワクチン予防接種 予診票

任意接種用

※接種希望の方は、太ワク内にご記入ください。

診察前の体温

度 分

住 所	フリガナ	TEL () -
受ける人の氏名	(保護者の氏名)	男・女 生年月日 明治大正昭和平成 年 月 日生 (歳 カ月)

質 問 事 項	回 答 欄		医師記入欄
1. 今日受けられる予防接種について表面の説明文を読んで理解しましたか	いいえ	はい	
2. 今までに麻しんワクチン、風しんワクチン、麻しん風しん混合ワクチン、いずれかの予防接種を受けたことがありますか	はい(ワクチン)	いいえ	
3. 【接種を受けられる方がお子さんの場合】 分娩時、出生時、乳幼児健診などで異常がありましたか	ある(具体的に)	ない	
4. 今日、ふだんと違って具合の悪いところがありますか	ある(具体的に)	ない	
5. 現在、何かの病気で医師にかかっていますか(気管支ぜんそくなど)	はい(病名)	いいえ	
6. 最近1か月の間に何か病気にかかりましたか	はい(病名)	いいえ	
7. 最近1か月以内に近親者や周囲に麻しん(はしか)、風しん、水痘(みずぼうそう)、おたふくかぜなどにかかった方がいますか	いる(病名)	いない	
8. 最近1か月以内に予防接種を受けましたか	はい(予防接種名)	いいえ	
9. 今までに予防接種を受けて具合が悪くなったことがありますか	はい(具体的に)	いいえ	
10. 今までに特別な病気(先天性異常、心臓、腎臓、肝臓、血液疾患、免疫不全症、その他の病気)にかかり医師の診察を受けていますか	はい(具体的に)	いいえ	
11. 今までにひきつけ(けいれん)をおこしたことがありますか	ある(ころ 回くらい) (最後は 年 月ころ)	ない	
12. 薬や食品(鶏肉、鶏卵など)で皮膚に発疹やじんましんがでたり、体の具合が悪くなったことがありますか	ある(薬、食品名)	ない	
13. 近親者の中に先天性免疫不全と診断されている方はいますか	はい	いいえ	
14. 最近6か月以内に輸血あるいはガンマグロブリンの注射を受けましたか	はい(いつ 理由)	いいえ	
15. 【ご婦人の方に】 1) 今妊娠しているあるいは妊娠している可能性がありますか 2) 接種後2か月間の避妊について説明を受けましたか	はい いいえ	いいえ はい	
16. その他、健康状態のことで医師に伝えておきたいことがあれば具体的に記入ください(投薬状況など)			

医師の記入欄

医師の署名

以上の問診及び診察の結果、今日の予防接種は(可能・見合わせる)

本人または保護者に対して、予防接種の効果、副反応及び医薬品医療機器総合機構法に基づく救済について、説明した。

医師の診察・説明を受け、予防接種の効果や副反応などについて理解した上で、接種を希望しますか。(接種を希望します・接種を希望しません)

本人の署名(もしくは保護者の署名)

使用ワクチン名	用法・用量	実施場所・医師名・接種日時
乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン「タケダ」 Lot No. : カルテNo. :	皮下接種 mL	実施場所: 医師名: 接種日時:平成 年 月 日 時 分